

資料 1 緑の現況及び計画改定の視点

(1) 緑の量の現況

1) 緑の目標量

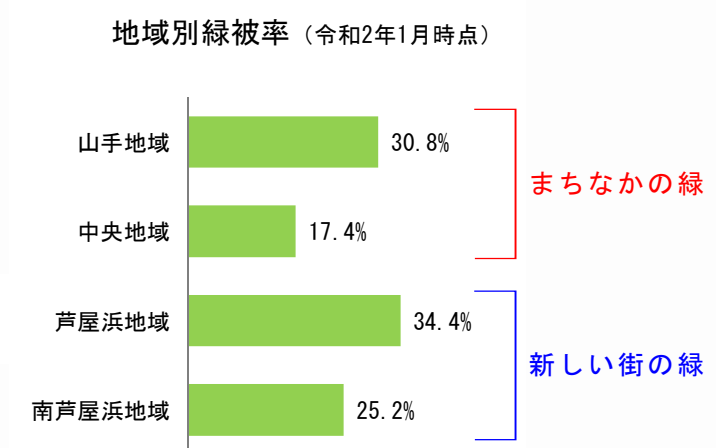
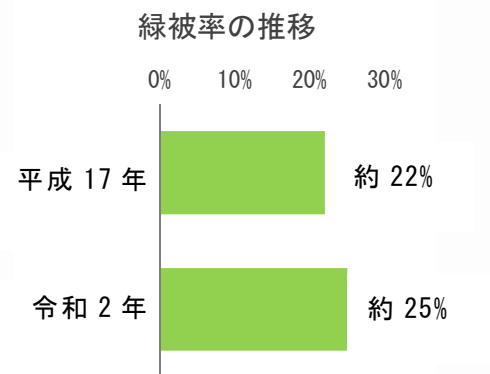
緑の目標量と現況（令和2年1月時点）

	平成17年度	現況	令和2年度 (目標値)
緑の量	約209ha	約242ha	約269ha
都市公園面積	約82ha	約86ha	約113ha

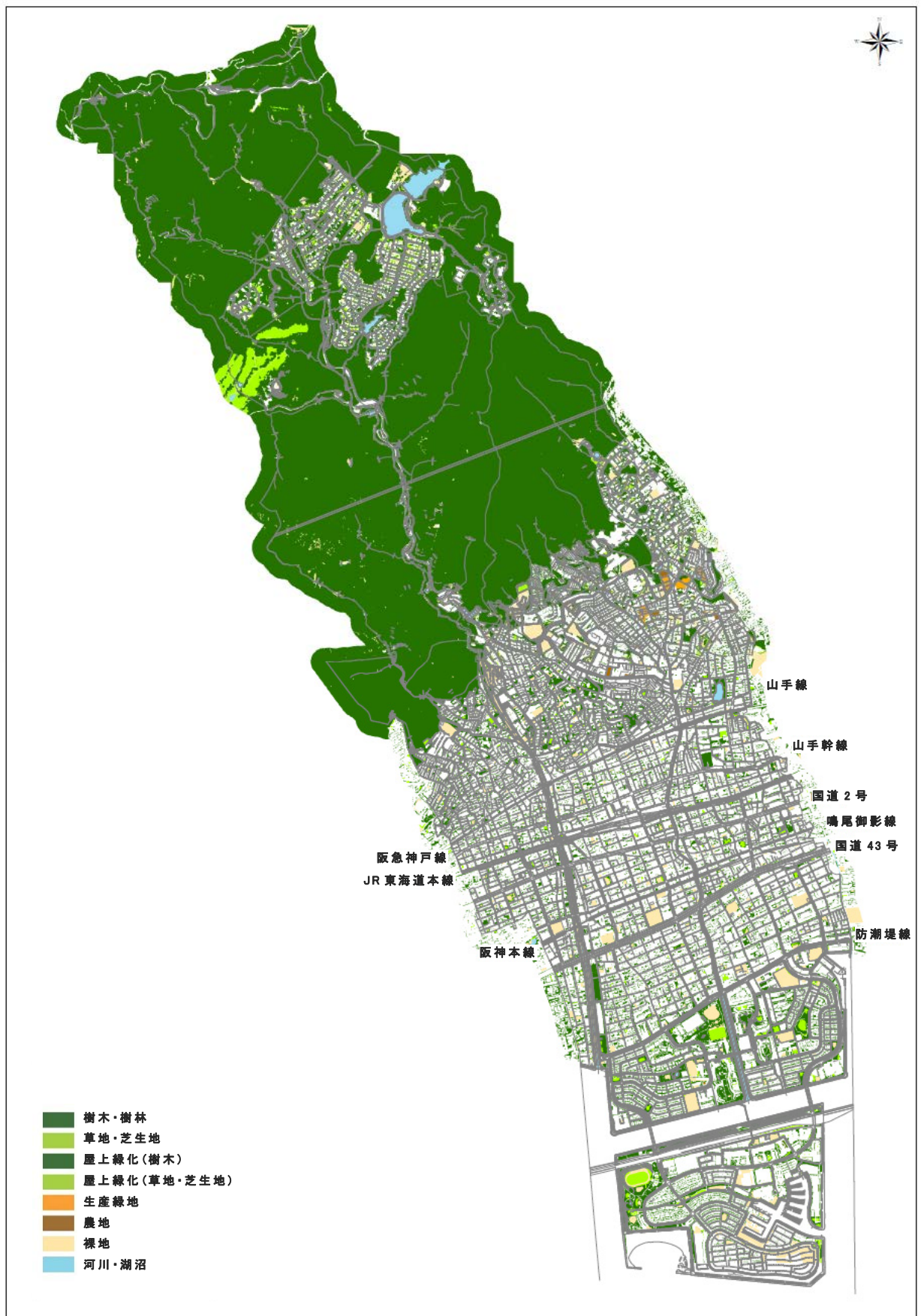
2) 緑被率

緑被率（市街化区域における緑の量）は、南芦屋浜地域における計画的な公園等の整備が進んだことや、条例等に基づく民有地における緑化が図られたことなどから、増加してきています。

地域別緑被率では、中央地域で少なくなっており、緑化が求められています。

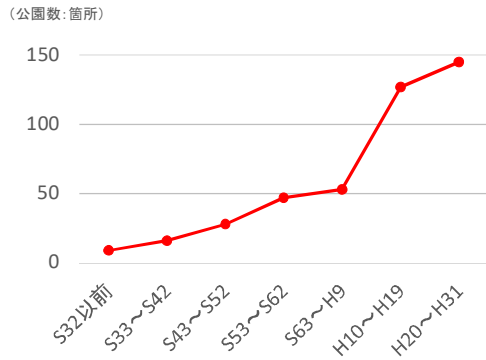


市域の緑被状況（令和2年1月時点）



3) 都市公園の現況

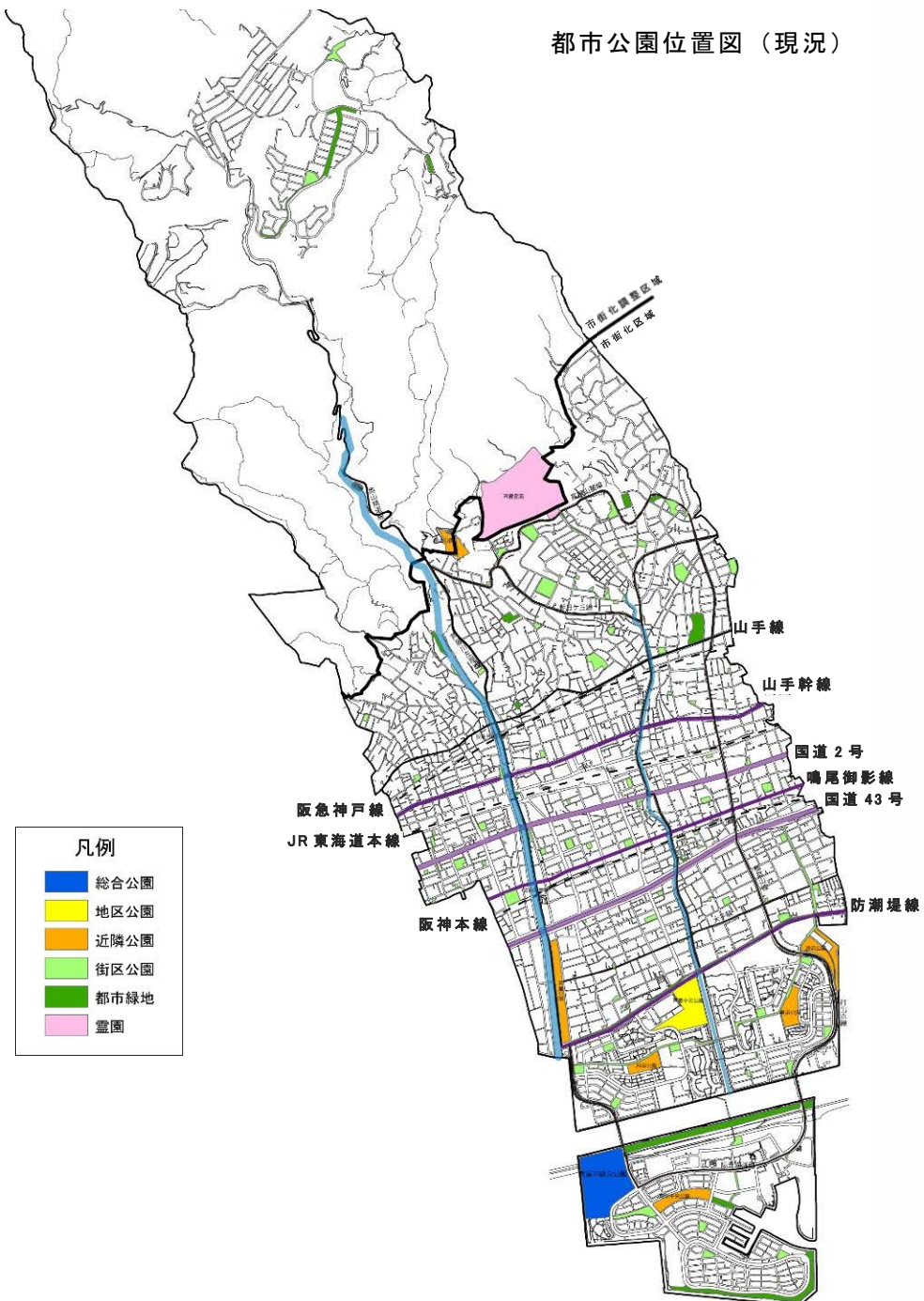
都市公園整備数(累計)



都市公園の整備は、埋立地の開発が進んだ昭和 50 年代と震災復興が行われた平成 10 年代を中心に大きく進みました。

昭和 50 年代に整備された公園が多いため、遊具や施設の老朽化が一斉に進んでいます。

都市公園位置図(現況)



「緑の量の現況」による計画改定の視点

緑の量の現況より導かれる計画改定の視点を整理します。

分析① 緑の目標量・緑被率（p22 参照）

- ✓ 市内の緑の「量」を増やす取組により，平成 17 年度と比較すると，増加が図られています。
- ✓ 地域別では，中央地域の緑被率が低くなっています。

分析② 都市公園の状況（p24 参照）

- ✓ 本市では，昭和 50 年代と平成 10 年代を中心に公園・緑地の整備が大きく進みましたが，計画的な整備は概ね完了しています。
- ✓ 昭和 50 年代に整備された公園が多いため，遊具や施設の老朽化が一斉に進んでいます。



■ 計画改定の視点

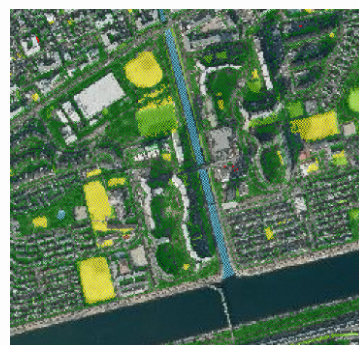
- ✓ 整備された緑の「量」を維持しつつ，緑の「質」をどのように維持・向上させるか，地域の特性に応じて施策を進めていく必要があります。
- ✓ 新たな公園用地等の取得が困難な市街地を中心に，今ある緑の有効活用等，新しい緑の施策を検討する必要があります。



六甲山の緑



まちなかの緑



新しい街の緑

地域別の緑被状況（部分例示）

(2) 市民アンケート調査

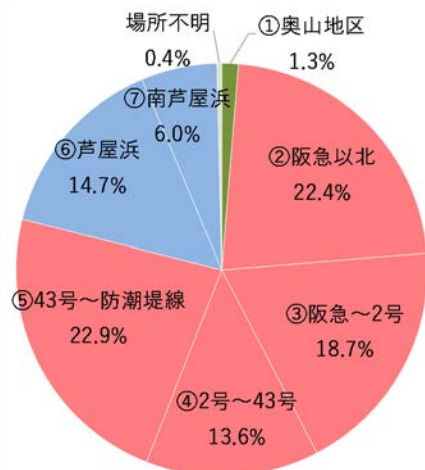
【 令和2年度緑の基本計画市民アンケート調査 】

- 調査期間 : 令和2年6月5日～6月26日
- 対 象 : 市内在住の18歳以上の方の中から無作為抽出した1,000名
- 調査方法 : 郵送配布・郵送回収
- 調査票 : A4縦全4ページ
- 回収数 : 536通(回収率:53.6%)

1) 回答者の姿

■ 地域別回答者数[回答者の分布]

「あなたのお住いの町名をお教えてください」



※ 地域区分(p7)との対応: 回答者数割合〔地区名〕

①六甲山の緑 : 1.3%

〔奥山地区(市街化調整区域)〕

②まちなかの緑 : 77.6%

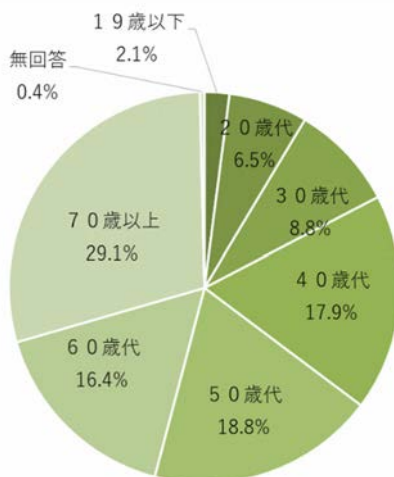
〔阪急以北(市街化区域内), 阪急～国道2号, 国道2号～43号, 国道43号～防潮堤線〕

③新しい街の緑 : 20.7%

〔芦屋浜, 南芦屋浜〕

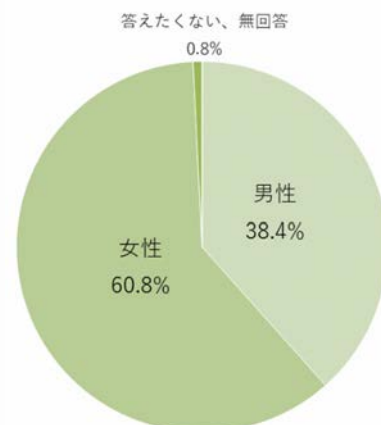
■ 年齢別回答者数[回答者の分布]

「あなたの年齢をお教えてください」



■ 性別別回答者数[回答者の分布]

「あなたの性別をお教えてください」



2) 緑の「量」と「質」

- ・評価が高い＝「多い」、「やや多い」 / 「満足」、「やや満足」の合計
 - ・評価が低い＝「少ない」、「やや少ない」 / 「不満」、「やや不満」の合計
- 赤枠：評価が高い / 青枠：評価が低い

■ 芦屋市の緑の量 / 住んでいる地域の緑の量

「お住いの地域において、緑の量をあなたはどのように感じていますか」



■ 芦屋市の緑の質 / 住んでいる地域の緑の質

「お住いの地域において、緑の質をあなたはどのように感じていますか」



【結果】

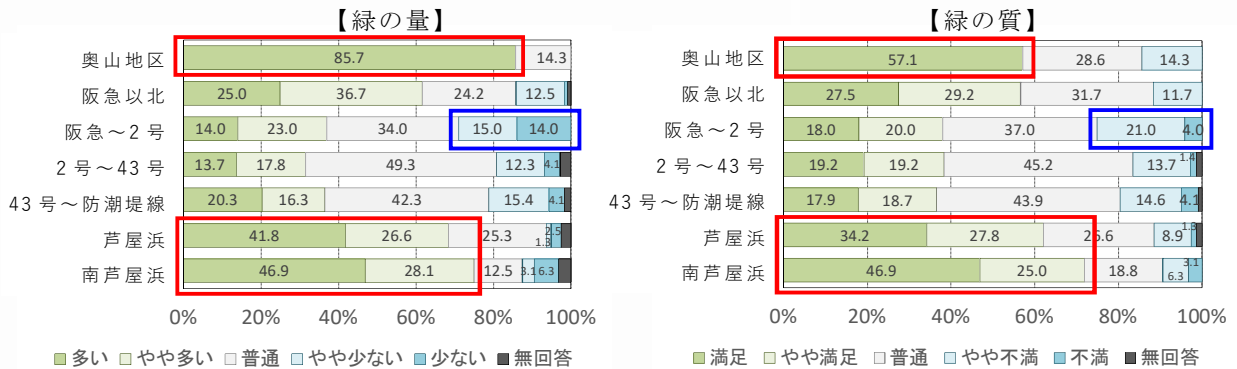
- ・評価の高い緑は、「量」、「質」とともに「地域全体の緑」、「公園の緑」、「街路樹の緑」です。
- ・量の評価が低い緑は「公共施設内の緑」、「宅地内の緑」です。
- ・「街路樹の緑」の質は、評価が分かれています。

【考察】

- ・「量」、「質」の評価が低かった緑に対して、評価を高めていく施策を講じていくことが求められます。
- ・特に、「質」に対する評価が低い街路樹に対して、地域の特性を考慮しつつ、樹種の選定や老木の植替え、適正な維持管理等に対する検討を行い、質の向上を図ることが求められます。

【 住んでいる地域の緑の量 × 地域区分でのクロス集計 】

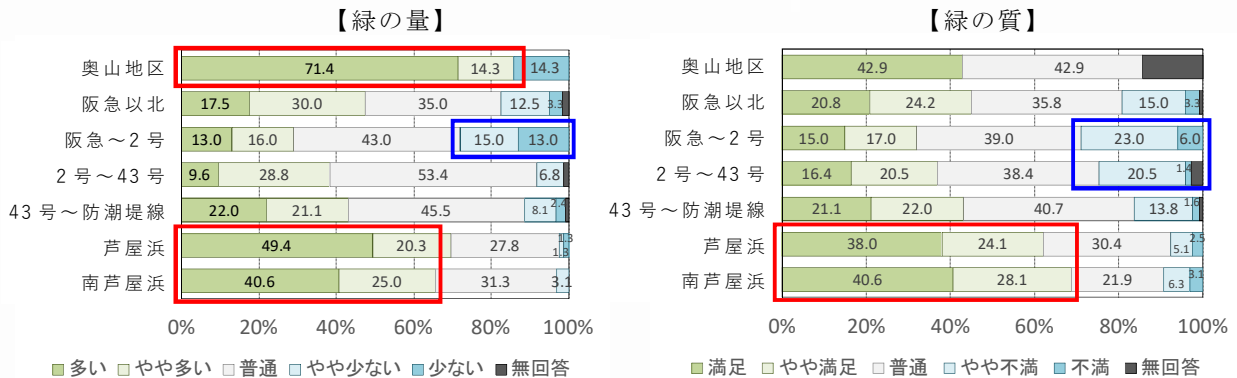
①地域全体の緑



【地域全体の緑】（地区別）

- ・評価の高い地区：奥山地区，阪急以北，芦屋浜，南芦屋浜
- ・評価の低い地区：阪急～国道2号

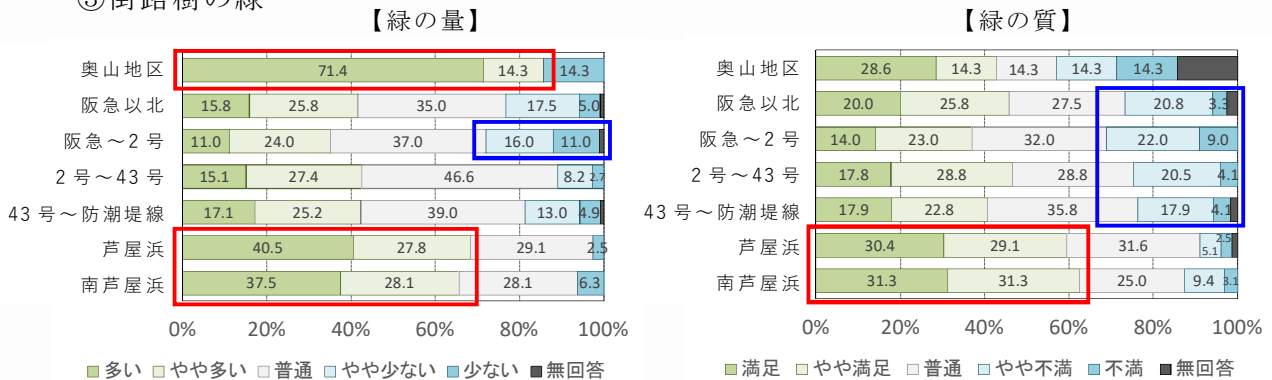
②公園の緑



【公園の緑】（地区別）

- ・評価の高い地区：奥山地区，芦屋浜，南芦屋浜
- ・評価の低い地区：阪急～国道2号，国道2号～43号

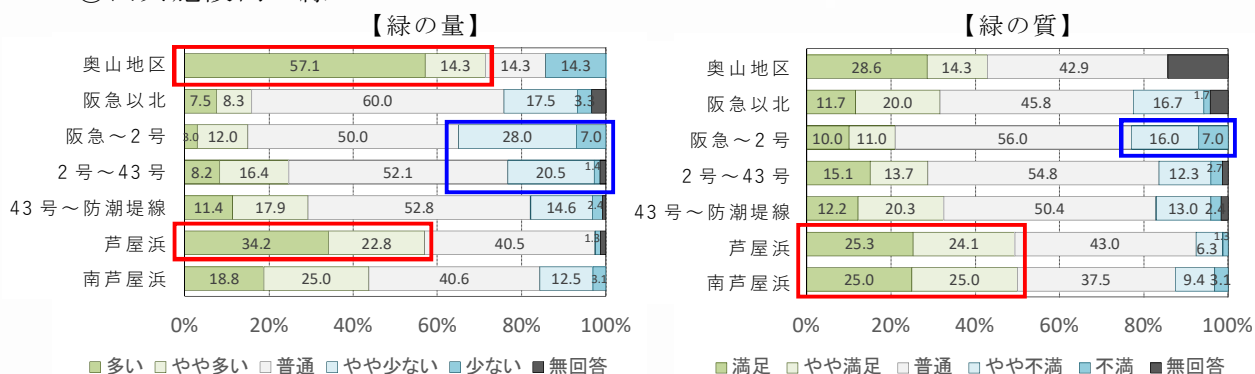
③街路樹の緑



【街路樹の緑】（地区別）

- ・評価の高い地区：奥山地区，芦屋浜，南芦屋浜
- ・評価の低い地区：阪急以北，阪急～国道2号，国道2号～43号，国道43号～防潮堤線

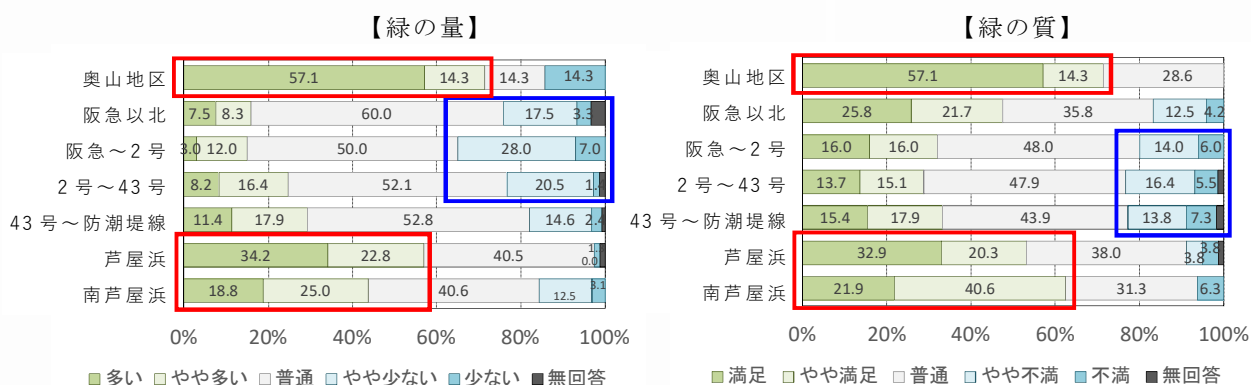
④ 公共施設内の緑



【公共施設内の緑】（地区別）

- ・評価の高い地区：奥山地区，芦屋浜，南芦屋浜
- ・評価の低い地区：阪急～国道2号，国道2号～43号

⑤ 宅地内の緑



【宅地内の緑】（地区別）

- ・評価の高い地区：奥山地区，芦屋浜，南芦屋浜
- ・評価の低い地区：阪急以北，阪急～国道2号，国道2号～43号，国道43号～防潮堤線

【結果】

- ・地区の緑の状況に応じて、「量」，「質」に対する評価が異なります。
- ・六甲山のある奥山地区，計画的なまちづくりが行われている芦屋浜，南芦屋浜を中心に，評価が高い傾向にあります。
- ・防潮堤線以北の市街化区域については，全体的に評価が低くなっています。

【考察】

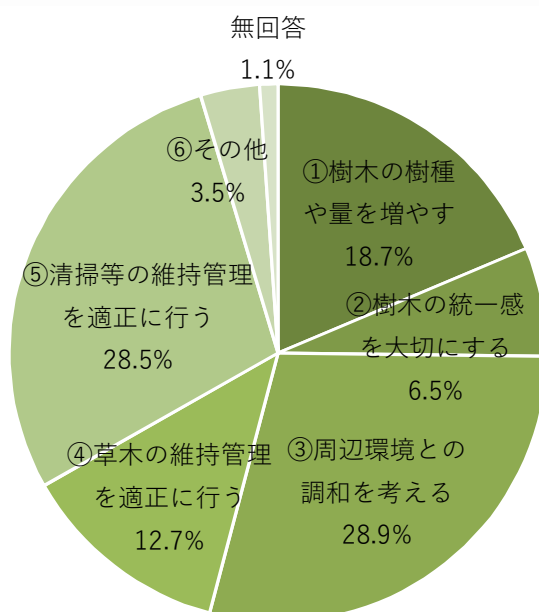
- ・他の地域に比べて「量」，「質」共に評価が低い傾向にある防潮堤線以北の市街化区域では，地域の特性に応じた実現可能な対策の検討が求められます。
- ・質も含めて満足度を高める取組の一例として，道路の整備等に合わせた公園や緑地の整備や再編，周辺のまちなみに調和した街路樹の整備等，実現性の高い手法を検討することが求められます。

3) 緑の「質」の向上

■ 市民が重視する内容

「緑の“質”を良好なものとする取組として
一番重視するものはどれですか。」(以下より1つを選択)

- ① 街路樹や公園に植栽される樹種や量を増やし、緑豊かにする
- ② 街路樹や公園に植栽される樹種や量を抑え、統一感を大切にする
- ③ 周辺環境との調和を考えた樹種の選定や量を大切にする
- ④ 公共施設内や宅地内の樹木の剪定や草木の維持管理を適正に行う
- ⑤ 街路樹の剪定や、公園や道路の落ち葉の清掃等の維持管理を適正に行う
- ⑥ その他



【結果】

- ・最も多かった回答は「③周辺環境との調和を考えた樹種の選定や量を大切に
する」です。
- ・ほぼ同じ割合で回答が多かったのは「⑤街路樹の剪定や、公園や道路の落ち
葉の清掃等の維持管理を適正に行う」です。

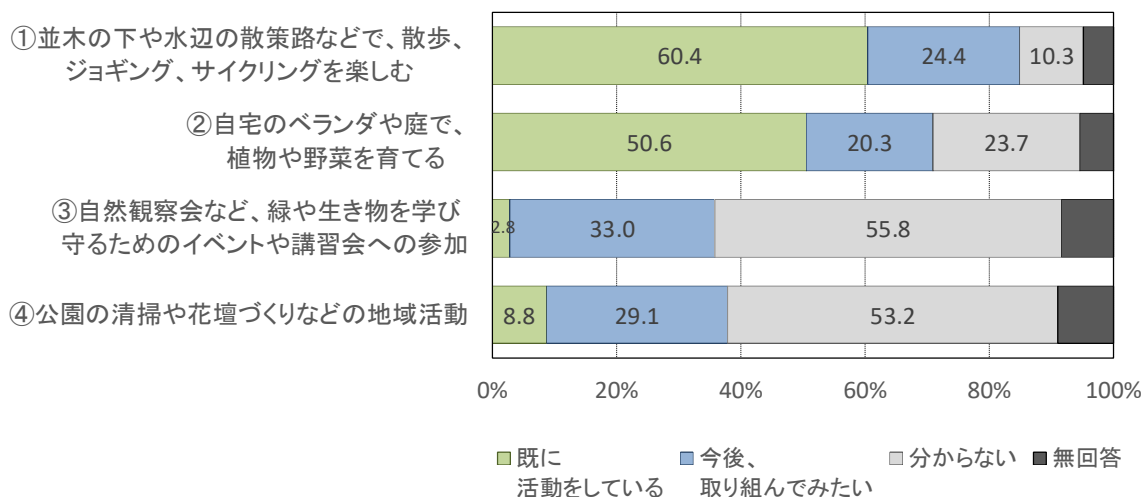
【考察】

- ・これらのことから、周辺環境と調和する緑のあり方を検討し、清掃等、維持管
理を適正に行うことにより、それぞれの地域に求められる緑の質を実現する
ことが求められます。
- ・他方、樹木の樹種や量を増やすという回答も比較的多いことから、維持管理
を含めた暮らしを豊かにする緑のあり方について、市民と共に考え、共に実
現に向けて取り組むなど、協働していくことが求められます。

4) 市民の取組

■ 活動している・活動したい内容〔市民参加の実態・意向〕

「緑に親しむ，または緑を守るため，あなたがすでに行っている，または，今後取り組んでみたい活動はどれですか。」



【結果】

- ・既に行っている活動として意見が多かったものは「散歩，ジョギング，サイクリングを楽しむ」，「植物や野菜を育てる」です。
- ・今後，取り組んでみたい活動として意見が多かったものは「イベントや講習会への参加」，「公園の清掃や花壇づくりなどの地域活動」です。

【考察】

- ・既に活動しているとの回答が多かったものについては，更に充実した活動につながるよう，既存の取組の継続が求められます。
- ・「今後，取り組んでみたい」との回答が多い，市民の緑化活動への参加を促していく支援策の拡充が求められます。

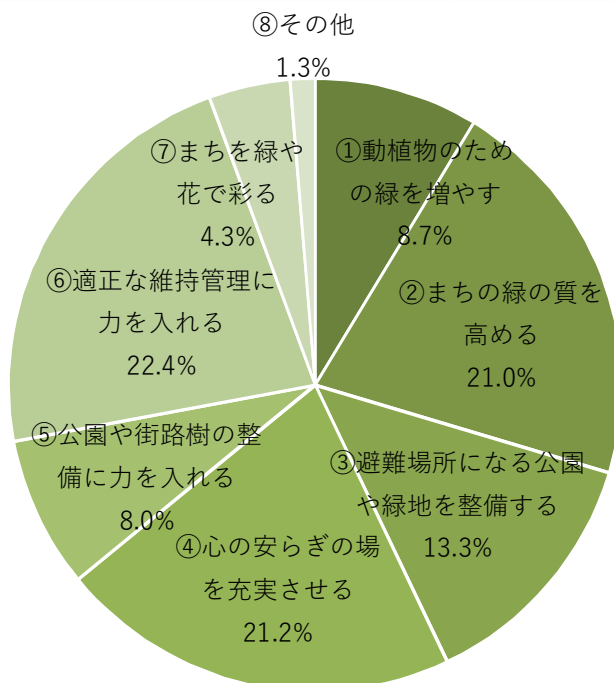
5) 市全体での取組

■ 今後、重視すべき取組

「本市全体の緑に関する取組について重視するものは何ですか。」

(①から⑧の中から3つまでを選択)

- ①鳥や昆虫，草花など動植物のための緑を増やす
- ②まちなみの美観を高めるため，まちの緑の質を高める
- ③災害時の避難場所となるような公園や緑地を整備する
- ④身近に自然を感じながら都市を回遊し，憩えるような，心の安らぎの場を充実させる
- ⑤公園や街路樹の整備やリニューアルに力を入れる
- ⑥公園や街路樹の剪定・落ち葉の清掃等，適正な維持管理に力を入れる
- ⑦市民参加を活発にして，まちを緑や花で彩る
- ⑧その他



【結果】

- ・最も多かったのは、「⑥公園や街路樹の剪定・落ち葉の清掃等，適正な維持管理に力を入れる」です。
- ・次いで多かった回答は、「④身近に自然を感じながら都市を回遊し，憩えるような，心の安らぎの場を充実させる」，「②まちなみの美観を高めるとともに，まちの緑の質を高める」です。

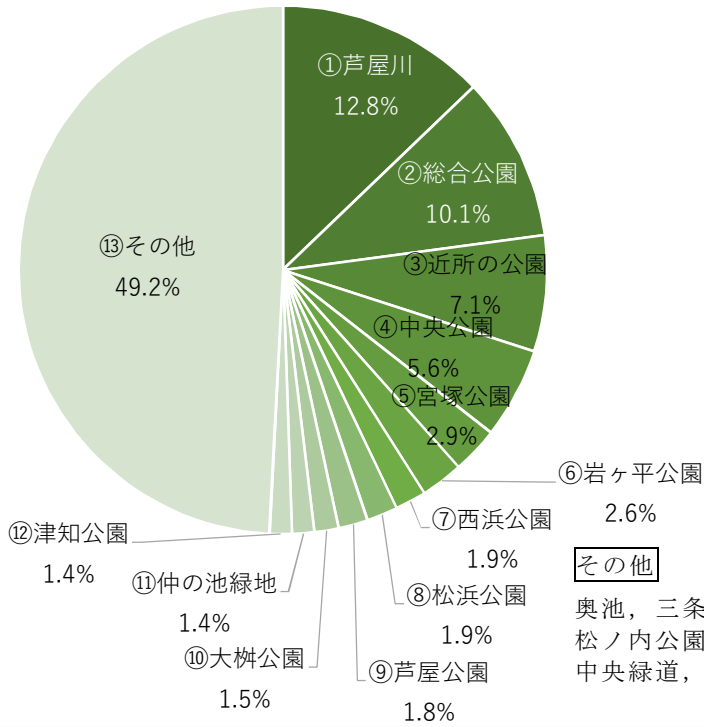
【考察】

- ・回答の多かった3つの項目の関連性から，清掃等の維持管理を重視してまちなみの美観を高めるとともに，都市を回遊し，憩える場を充実させていくことが求められます。
- ・また，緑の質を高める取組は，地域の特性に応じて異なるため，地域ごとに，協働により，緑のあり方を考えることが求められます。

6) 公園の利用実態

■ 市民がよく利用する公園・緑地

「あなたや家族が良く利用する公園・緑地はどこですか。
名称または場所をお教えてください。」



【結果】

・最も多かった回答は「芦屋川」,
次いで「総合公園」です。

【考察】

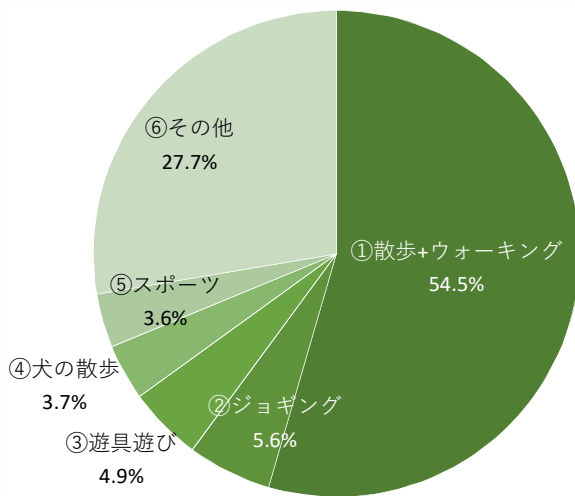
・「その他」も49%と多く、利用
する公園は多様化していると思
われます。
・規模が大きいこと、アクセスが
良いこと、遊具が充実している
ことなど、公園や緑地として特
性が明確な場所の利用が多い
と考えられ、今後の整備・更新
等の検討に際して、留意する必
要があります。

その他

奥池、三条公園、前山公園、朝日ヶ丘公園、東山公園、
松ノ内公園、月若公園、小槌公園、呉川公園、大東公園、
中央緑道、宮川、夙川、その他多数

■ 公園・緑地を利用する目的

「上記の問いでいただいた公園・緑地を利用する目的は何ですか。」



その他

子供や孫と遊ぶ、休憩、お花見、
通勤途中に通過する、等

【結果】

・「散歩+ウォーキング」,
「ジョギング」,
「スポーツ」の合計は
60%以上になります。
・「その他」が約28%であり、利
用目的も多様化していると思
われます。

【考察】

・健康づくりの場としての公園
や緑地の利用割合が高くなっ
ています。
・そのため、公園や街路樹など、
緑の様々な要素の連携を図る
ことにより、活用しやすくする
取組の検討が求められます。

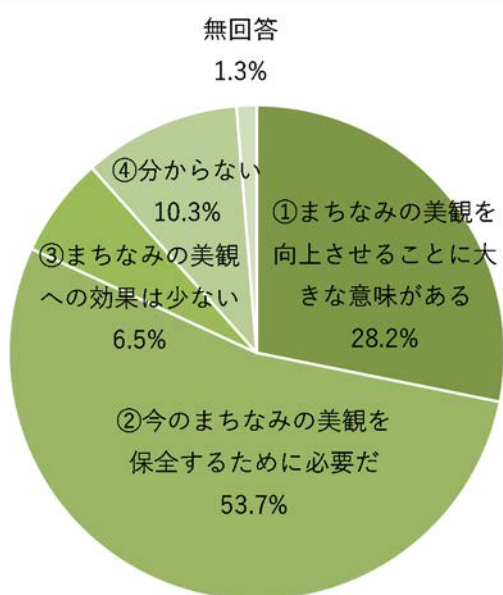
7) 緑化基準の必要性について

■ 宅地内等の緑化の基準について

「本市では、緑の保全や推進を図るため「宅地内(マンション等集合住宅を含む)にも緑化の基準」を一部の地区で定めています。この基準はまちなみの美観向上にどの程度効果をもたらしていると思いますか。」

(以下より1つを選択)

- ①市街地の緑を守り育て、まちなみの美観を向上させることに大きな意味があると思う
- ②基準や内容は知らないが、今のまちなみの美観を保全するために必要だと思う
- ③宅地内の緑であり、まちなみの美観への効果は少ないと思う
- ④分からない



【結果】

- ・最も多かった回答は「必要だ」の54%、「意味がある」28%を含めると8割以上の市民から理解を得ています。

【考察】

- ・私有財産である民有地の緑化についての規制に対して、一定の理解が得られていると思われます。
- ・「分からない」も10%ある点に対して、制度の周知と理解を継続的に求めていく必要があります。

8) 計画の認知度

■ 芦屋市緑の基本計画について

「あなたは「芦屋市緑の基本計画」を知っていますか。」



【結果】

- ・市民の多くの方は、本計画についてご存じありません。

【考察】

- ・本市の緑のあり方や取組について、市民の皆様には、分かりやすく情報発信する工夫が求められます。

「市民アンケート調査」による計画改定の視点

市民アンケートの分析結果より導かれる計画改定の視点を整理します。

分析① 緑の「量」と「質」(p27 参照), 緑化基準の必要性 (p34 参照)

- ✓ 地域全体, 公園の緑について, 「量」, 「質」とともに評価が高い傾向にあります。
- ✓ 街路樹, 宅地内の緑について, 「量」, 「質」の評価が低い地区が見られます。

分析② 緑の「質」の向上 (p30 参照), 市全体での取組 (p32 参照)

- ✓ 周辺環境との調和を図ること, 清掃等の適正な維持管理, まちの緑の質を高めることを重視していくことが求められます。
- ✓ 心の安らぎの場を充実させることも求められています。

分析③ 市民の取組 (p31 参照), 公園の利用実態 (p33 参照)

- ✓ 多くの市民が散歩・ウォーキングで公園・緑地を利用し, ジョギング, サイクリング, 植物を育てる活動を楽しんでいます。
- ✓ 今後, 自然観察会などのイベント, 公園の清掃や花壇づくりなどの地域活動に参加してみたい意向が見られます。

分析④ 計画の認知度 (p34 参照)

- ✓ 計画の周知, 分かりやすい整理が求められます。



■ 計画改定の視点

- ✓ これまでに整備され維持されてきた評価の高い緑の「量」を保つとともに, 適正な維持管理等を通じて「質」を維持し, 高めていく必要があります。
- ✓ 散歩やウォーキングなど健康づくりに対する高い利用者ニーズに対応するため, 公園や街路樹等まちの緑を連携させ, 活用しやすくする取組を進める必要があります。
- ✓ 緑に関する取組について, 市民それぞれの考えやライフスタイルに応じて, 自由に緑に関わることのできる協働の取組を検討する必要があります。

(3) 緑化施策の取組状況

1) 緑地確保の取組

本市の公園・緑地や緑化に関する取組の実績や課題について、「環境」、「レクリエーション」、「防災」、「景観」の4つ視点で整理します。

① 環境と緑の施策

項目	主な取組実績	今後の課題・方向性
六甲山の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・「近郊緑地保全区域」による樹林地の保全 ・ハイキング道の標識の整備 ・マツ枯れ，ナラ枯れ樹木の伐採 ・有害鳥獣の駆除 ・「山まつり」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地の保全の継続 ・森林レクリエーションの継続
芦屋川，宮川の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の除草，清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川環境保全の継続
動植物，生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会，環境学習，市民の環境活動の支援 ・環境啓発活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動支援の継続 ・外来種駆除及び希少種保護
街路樹の保全 歩行空間の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・既存樹木の剪定，老木の植え替えを実施 ・樹木の根に起因する道路の段差解消などバリアフリー化を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の老木化対策と安全管理 ・街路樹の中から重点管理路線を設定して，維持管理を強化 ・緑を活かした道路の回遊性の向上
貴重な樹林地の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋霊園の植樹を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・老木化した霊園樹木の植え替え
生産緑地の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者との連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産緑地指定の解除 ・特定生産緑地の指定支援
民有地の緑の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・生垣づくり，花壇づくり等の支援 ・緑のカーテンづくり等の支援 ・保護樹，保護樹林所有者の維持管理に対する助成等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・民有地等，市民が取り組む緑化の支援を継続 ・保護樹，保護樹林所有者の維持管理に対する助成等の支援継続
空き地，空き家， 駐車場緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・繁茂した樹木の剪定等 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き地，空き家の増加と繁茂した樹木管理，駐車場の増加に伴う緑地の減少等への対応
樹木の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・老木化した公園樹，街路樹の伐採，植え替え 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園樹，街路樹の計画的な更新と適切な維持管理
市民による緑化活動	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や団体に対する緑化活動を支援 ・自治会等の公園清掃の支援 ・老朽化した公園遊具のリニューアル等における市民との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が取り組む緑化活動の支援を継続 ・自治会やボランティアの高齢化，減少への対応 ・老朽化した公園遊具のリニューアル等における市民との連携の継続
先進的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・宮塚公園での協働による公園リニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の公園整備に対する知見の整理，展開

② レクリエーションと緑の施策

項目	主な取組実績	今後の課題・方向性
公園緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> 公園緑地整備を推進 H17：82ha(8.6㎡/人) R2：86ha(9.1㎡/人) 予定していた公園整備は概ね完了 公園施設の長寿命化計画を策定 老朽化した公園施設の改修(園路、広場等) 公園施設の更新、バリアフリー化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の老朽化、維持管理負担の増大への対応 公園、緑地が少ない地域での整備手法等の検討 公園利用の促進 利用の少ない小規模公園の再編等 バリアフリー対策の継続
緑化活動、レクリエーション活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> オープンガーデン実施 自治会等地域団体の公園利用、公園清掃の促進 公園除草、清掃等におけるシルバー人材センターとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> オープンガーデンの継続 緑化活動を行う市民の高齢化に対する支援策の検討 公園除草、清掃等におけるシルバー人材センターとの連携継続
市民農園の確保	<ul style="list-style-type: none"> 市内2箇所で開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市民農園運営を継続

③ 防災と緑の施策

項目	主な取組実績	今後の課題・方向性
国道43号沿道の防災機能強化のための緑地整備、維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 国道43号沿道の環境防災緑地用地の買取調整 一部用地では地元利用型として広場や花壇を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 環境防災緑地の整備継続と整備に向けた地域と調整
避難路となる道路の緑化	<ul style="list-style-type: none"> 避難路となる道路の街路樹の適正管理 	<ul style="list-style-type: none"> 避難路の安全性強化を意識した街路樹の整備と管理の検討
一次避難地となる公園の確保及び避難訓練等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業に伴い都市公園を整備 一時避難地として公園等を位置づけ 公園等オープンスペースを活用した防災訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 防災用資材倉庫の整備及び防災訓練等への活用継続
がけ崩れ等の防災対策	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地の安全対策工事における緑の確保に関する調整 	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地の安全対策工事における緑の確保に関する調整、工事の実施

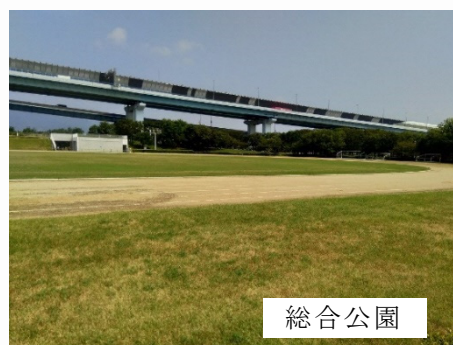
④ 景観と緑の施策

項目	主な取組実績	今後の課題・方向性
民有地等の景観保全	<ul style="list-style-type: none"> ・「風致地区」、「緑の保全地区」、「芦屋川特別景観地区」、「芦屋景観計画」等に基づく緑化の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・各条例の規定等に基づく緑地保全策の継続
南芦屋浜地域の修景・緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・「景観形成地区」等の基準に基づく緑化の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・各条例の規定等に基づく緑地保全策の継続
J R 芦屋駅周辺の緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・J R 芦屋駅南地区市街地再開発事業に伴う街路樹等の整備検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の樹種等の調整（維持管理面等）

2) 緑化重点地区における取組

前計画で「緑化重点地区」として設定した2地区の状況を整理します。

■ 南芦屋浜地区緑化重点地区



【緑の質】

- ・計画的に整備されてきた公園、街路樹や民有地の緑は、良好に維持管理されている
- ・全市的なイベント、スポーツ、水辺のレクリエーション拠点として、緑が活用されている
- ・市民と市との協働により、緑を活かす取組が行われている

【緑の量】

- ・まちづくりの進捗に伴い、公園、街路樹、民有地の緑の整備が進んでいる



■ JR 芦屋・阪神芦屋駅エリア地区緑化重点地区



芦屋川・マツ並木

【緑の量】

- ・公園・街路樹の緑は保全されている
- ・マンション開発等において、条例等の基準に基づき、民有地の緑が整備されている
- ・JR 芦屋駅南地区市街地再開発事業において、街路樹等も含めた景観配慮を検討

【緑の質】

- ・公園，街路樹等は良好に維持管理されている
- ・道路や公共施設において協働による花壇づくりが行われている



業平橋花壇



宮塚公園



緑被状況



市役所北広場花壇



鳴尾御影線

◆ 宮塚公園における協働の取組事例

■ 協働による公園整備と利活用

宮塚公園のリニューアルを地域の皆さんと協働で取り組みました。

この取組は、緑を“つくり”“いかす”ことに加えて、緑で“つながる”これからの公園づくりのモデルとなります。

宮塚公園での協働の経験を活かして、市内の各所で協働の取組を進めていくことが求められます。

宮塚公園 リニューアル モデル事業



緑を“つくる”計画づくり

2017年1月から宮塚町と茶屋之町をはじめとする地域の皆さんと、意見交換を重ねて整備及び活用の計画を策定し、改修工事を実施



緑を“いかす”イベント開催

2018年4月、「宮塚公園活性化実行委員会」により、地域が主体のイベントを開催

緑で“つながる”取組

地域が主体のイベントにより、人と人との“つながり”が生まれる

市内各所に “協働”の 取組を展開



協働による“つながる”取組の事例として、市内各所に展開

「緑化施策の取組状況」による計画改定の視点

緑化施策の取組状況より導かれる計画改定の視点を整理します。

分析① 環境と緑の施策 (p36～37 参照)

- ✓ 森林、河川等の緑は、適正に保全されています。
- ✓ 街路樹や民有地の緑、農地の持続的な保全に課題があります。
- ✓ 空き家・空き地の増加が課題となっています。

分析② レクリエーションと緑の施策 (p37 参照)

- ✓ 公園施設の老朽化対策、公園、緑地が少ない地域への対応が課題となっています。
- ✓ 利用の少ない小規模公園については再編等の検討が求められます。
- ✓ オープンガーデン等協働による取組の更なる拡充が求められます。

分析③ 防災と緑の施策 (p38 参照)

- ✓ 広域避難地や一次避難地の防災施設整備、延焼防止帯の緑化が求められます。
- ✓ 街路樹について、防災面からの整備と管理の検討が課題となっています。

分析④ 景観と緑の施策 (p38 参照)

- ✓ 条例による規定等に基づき、民有地の緑化が図られています。
- ✓ J R 芦屋駅南地区では事業実施等に際し、景観に配慮した街路樹整備が求められます。

分析⑤ 緑化重点地区 (p39～41 参照)

- ✓ 南芦屋浜地区緑化重点地区は、計画的に緑が整備されています。
- ✓ J R 芦屋・阪神芦屋駅エリア地区緑化重点地区は、地域ごとの緑の状況を踏まえ、地域の特性に応じた緑の保全、緑の質を高める取組が求められます。
- ✓ 宮塚公園において実施した、協働による取組の事例を市内各所に展開していくことが求められます。



■ 計画改定の視点

- ✓ 「環境保全」、「レクリエーション」、「防災」、「景観」という関係法令や計画ごとに分類していた各施策の効果をより発揮し、人口減少や少子高齢化、市民ニーズの多様化に対応するため、それぞれの施策の連携や更なる効果の発現を意識する必要があります。
- ✓ 散歩やウォーキングといった健康づくりをはじめ、市民ニーズの高い分野について、緑の整備、利活用、運営を総合的に捉え、施策を検討する必要があります。